

資料2

山鹿市総合戦略の検証結果について(令和2年度)

事業名	事業内容	指標 (KPI)重要業績評価指標	地方創生への効果/その理由	今後の方針/その理由
夢と希望を叶える就労支援事業				
地域に根差し、未来を担う企業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業、高等学校等及び行政が連携したオンライン形式による企業ガイダンスの実施 高等学校等への企業情報誌配布 	A: 高校新卒就職者のうち、地元企業への就職者の割合(%) (目標値) ⇒ (実績値) A: 14.0 14.2	<ul style="list-style-type: none"> 非常に効果的であった コロナ禍ではあったが、地元企業や高等学校等の協力によりオンライン形式による企業ガイダンスを開催することができ、高校生への記憶に残る取組ができたことは非常に効果があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに継続 高等学校等が参加する企業ガイダンスなどの活動を継続して実施していくことで、地元企業の認知度が向上し若者が地元に残る環境を整備する。また、早い時期から地元企業を知る機会を設けるため、小学生を対象とした企業見学会を新たに実施する。
女性の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援講座及びグループワークの開催(新型コロナウイルス感染症の影響により全日程中止) 企業に対し、女性の活躍促進に関するチラシの配布 	A: 就労支援講座受講者の就労者数(人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 8 0	<ul style="list-style-type: none"> 効果があつた 令和2年度中は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座等を開催できなかった。しかし、他の講座の開催、企業に対する啓発活動を通じて、女性の就労支援に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに継続 女性の就労支援の実施は、若年女性の市外流出を抑制するために必要であり、今後も計画に沿って事業を継続する。 令和3年度以降は、コロナ禍においても講座等を開催できるよう、少人数制やオンラインによる実施を検討している。
障がい者の就労支援と雇用機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 就労継続支援事業所での職業訓練及び相談支援事業所での相談事業の実施 	A: 障がい者の就労支援事業所から一般就労への移行数(人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 5 8	<ul style="list-style-type: none"> 非常に効果的であった 就労継続支援事業所及び相談支援事業所の適切な指導、助言により、目標値を上回る成果があつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに継続 今後も就労継続支援事業所での職業訓練や相談支援事業所での相談事業を継続して実施する。
ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)	<ul style="list-style-type: none"> 熊本市中心部発着と福岡県中心部発着の無料シャトルバスの試験運行の実施 市内宿泊施設が取り組むおもてなしの向上及び施設改修に対する助成 	A: 日帰り客数(千人) B: 宿泊客数(千人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 4,183 2,580 B: 343 178	<ul style="list-style-type: none"> 効果があつた 新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛が続いた中、「Go To トラベル」実施期間中には日帰り客、宿泊客数が令和元年度を超える月も見られた。観光消費額についても日帰り客、宿泊客とも令和元年度より増加している。これは、本市がこれまで実施した事業により新たな店舗の開店や、リピーターの獲得など、徐々に魅力ある観光地として多くの方に認識されている現れとも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取組追加等でさらに発展 一時的とはいえ、令和元年度よりも観光客が増加した時期があるということは、多くの人に本市が観光地として認識されているものと考えられ、これまでの取組の成果といえる。 アフターコロナを見据え、更なる交流人口増加を図るため、観光客のニーズに沿う新たなコンテンツを取り入れるとともに、地域の観光資源等を磨き上げながら近隣市町との連携を強化する。
観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)	<ul style="list-style-type: none"> 山鹿灯籠まつりPR動画の制作及びWEB配信 福岡都市圏向けテレビ番組の制作及びYouTube配信 	A: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数(件) B: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数(延べ人数) (目標値) ⇒ (実績値) A: 5 5 B: 8,000 38,045	<ul style="list-style-type: none"> 非常に効果的であった 豊前街道を対象とした空き家・空き店舗改修補助により店舗5件の新規開業につながった。また、対象事業所の利用者数についても目標値を大きく上回った。これに加え、空き店舗を活用した家賃補助による新規開業数は24件で、うち豊前街道沿線では13件の開業支援につながっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに継続 豊前街道沿線に事業効果が見込まれる空き家等の物件が、残存する中、当該事業の計画的な活用により、魅力あるまちなみ形成などを推進する。
豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 豊前街道沿いの空き家・空き店舗の改修費用の補助実施 創業・開業に対する家賃補助の実施 	A: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数(件) B: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数(延べ人数) (目標値) ⇒ (実績値) A: 5 5 B: 8,000 38,045	<ul style="list-style-type: none"> 非常に効果的であった 豊前街道を対象とした空き家・空き店舗改修補助により店舗5件の新規開業につながった。また、対象事業所の利用者数についても目標値を大きく上回った。これに加え、空き店舗を活用した家賃補助による新規開業数は24件で、うち豊前街道沿線では13件の開業支援につながっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに継続 豊前街道沿線に事業効果が見込まれる空き家等の物件が、残存する中、当該事業の計画的な活用により、魅力あるまちなみ形成などを推進する。